

## 国際社会における日本の役割

陳述者 西 英子

### 1. はじめに

日本国憲法の前文「われらは、世界の国民が、ひとしく恐怖と欠乏から免れ、平和のうちに生存する権利を有することを確認する」  
日本は国際社会における役割を果しているか。

### 2. 「恐怖と欠乏」とは---貧困、環境悪化、人権侵害

#### ○ 2001年 世界人口白書

「世界人口の20%の最も豊かな層が個人消費総額の86%を占め、最も貧しい20%は1.3%しか消費しない」

#### ○ 政府開発援助（ODA）と民間直接投資

#### ○ 日本の開発援助 1998年実績 1兆4000億円 世界第1位

#### ○ 貧富の格差拡大

1960年--2000年 富裕層の20% の個人消費総額 70.2% → 86%  
貧困層の20% " 2.3% → 1.3%

一部の富裕層は一層豊かになり、貧困層は一層貧しくなっている

#### ○ ODAや企業の投資の結果が、貧困層への差別と人権侵害を生み、「公害輸出」と環境破壊をもたらしている。東南アジアの例を話します。

#### ★ 援助のあり方

貧困層の人びとにまで手のとどく援助

伝統的な生活様式や自然環境を破壊しない援助

### 3. 「平和のうちに生存する権利」「恐怖と欠乏」--- 戦争と貧困

#### ○ テロへの対応

○ 今年のノーベル経済学賞を受賞した元世界銀行首席エコノミスト ジョセフ・ティグリツ氏 「テロ後、持つ者と持たざる者の格差に人びとの関心が向き始めた。世界をより安全にするには、貧富の差の解決に取り組むしかない」

#### ○ テロ特措法の成立

自衛隊の海外派遣と憲法第9条の関係

○ ペシャワール会 中村哲医師の10月13日衆議院テロ対策特別委員会での参考人としての発言 「自衛隊の派遣は有害無益」

★ 日本の役割は、アフガニスタンをはじめ中東諸国人びとが、戦争の恐怖と貧困から解放されて、平和な生活をおくることができるようするために力を注ぐこと。

以上